

イエスの警告「読者よ、悟れ」

マタイ24:15,16

「預言者ダニエルによって言われた荒らす憎むべき者が、聖なる場所に立つのを見たならば(読者よ、悟れ)、そのとき、ユダヤにいる人々は山へ逃げよ。」

マタイ24:3

「どうぞお話してください。いつ、そんなことが起るのでしょうか。あなたがまたおいでになる時や、世の終りには、どんな前兆がありますか」。

マタイ 24:15-21 「預言者ダニエルによって
言われた荒らす憎むべき者が、聖なる場
所に立つのを見たならば(読者よ、悟れ)、
24:16 そのとき、ユダヤにいる人々は山へ
逃げよ。24:17 屋上にいる者は、家からも
のを取り出そうとして下におりるな。→

24:18 畑にいる者は、上着を取りにあとへもどるな。24:19 その日には、身重の女と乳飲み子をもつ女とは、不幸である。24:20 あなたがたの逃げるのが、冬または安息日にならないように祈れ。24:21 その時には、世の初めから現在に至るまで、かつてなく今後もないような大きな患難が起るからである。」

1.ダニエルの時代の荒らす憎むべきもの
(第一のエルサレム神殿にかかわること)

2.イエスの時代の荒らす憎むべきもの
(第二の神殿にかかわること)

3.終りの時代の荒らす憎むべきもの
(全キリスト教会にかかわること)

Abomination = 憎むべきこと
desolation = 荒廃、滅亡

ダニエル1:1

「ユダの王エホヤキムの治世の第三年にバビロンの王ネブカデネザルはエルサレムにきて、これを攻め囲んだ。1:2 主はユダの王エホヤキムと、神の宮の器具の一部とを、彼の手にわたされたので、彼はこれをシナルの地の自分の神の宮に携えゆき、その器具を自分の神の蔵に納めた。」

歴代下36:5

「エホヤキムは王となった時二十五歳で、十一年の間エルサレムで世を治めた。彼はその神、主の前に悪を行った。」

歴代下 36:8

「エホヤキムのその他の行為、その行った憎むべき事および彼がひそかに行った事などは、イスラエルとユダの列王の書にしるされている。その子エホヤキンが彼に代って王となった。」

歴代下 36:9-11

「エホヤキンは王となった時八歳で、エルサレムで三月と十日の間、世を治め、主の前に悪を行った。36:10 年が改まり春になって、ネブカデネザル王は人をつかわして、彼を主の宮の尊い器物と共にバビロンに連れて行かせ、その兄弟ゼデキヤをユダとエルサレムの王とした。36:11 ゼデキヤは王となった時二十一歳で、十一年の間エルサレムで世を治めた。」

歴代下 36:12-14「彼はその神、主の前に悪を行い、主の言葉を伝える預言者エレミヤの前に、身をひくくしなかった。36:13 彼はまた、彼に神をさして誓わせたネブカデネザル王にもそむいた。彼は強情で、その心をかたくなにして、イスラエルの神、主に立ち返らなかつた。→

36:14 祭司のかしらたちおよび民らもまた、すべて異邦人のもろもろの憎むべき行為にならつて、はなはだしく罪を犯し、主がエルサレムに聖別しておかれた主の宮を汚した。」

新改訳

「そのうえ、祭司長全員と民も、異邦の民の、忌みきらうべきすべてののならわしをまねて、不信に不信を重ね、主がエルサレムで聖別された主の宮を汚した」(14節)

歴代下 36:17

「そこで主はカルデヤびとの王を彼らに攻めこさせられたので、彼はその聖所の家をつるぎをもって若者たちを殺し、若者をも、処女をも、老人をも、しらがの者をもあわれまなかった。主は彼らをことごとく彼の手に渡された。」

エレミヤ17:19-23 「主はわたしにこう言われた、
「行って、ユダの王たちの出入りするベニヤミン
の門、およびエルサレムのすべての門に立って、
17:20 言いなさい、『これらの門からはいるユダ
の王たち、およびユダのすべての民とエルサレ
ムに住むすべての者よ、主の言葉を聞きなさい。

→

17:21 主はこう言われる、命が惜しいならば気をつけるがよい。安息日に荷をたずさえ、またはそれを持ってエルサレムの門にはいってはならない。17:22 また安息日にあなたがたの家から荷を運び出してはならない。なんのわざをもしてはならない。わたしがあなたがたの先祖に命じたように安息日を聖別して守りなさい。17:23 しかし彼らは従わず耳を傾けず、聞くことも、戒めを受けることをも強情に拒んだ。...」

エレミヤ17:27

「しかし、もしあなたがたがわたしに聞き従わないで、安息日を聖別して守ることをせず、安息日に荷をたずさえてエルサレムの門にはいるならば、わたしは火をその門の中に燃やして、エルサレムのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす。その火は消えることがない」

エゼキエル 8:5,6

「時に彼はわたしに言われた、『人の子よ、目をあげて北の方をのぞめ』。そこでわたしが目をあげて北の方をのぞむと、見よ、祭壇の門の北にあたって、その入口に、このねたみの偶像があった。→

8:6 彼はまたわたしに言われた、『人の子よ、あなたは彼らのしていること、すなわちイスラエルの家がここでしている大いなる憎むべきことを見るか。これはわたしを聖所から遠ざけるものである。しかしあなたは、さらに大いなる憎むべきことを見るだろう』。

エゼキエル8:14-16

「そして彼はわたしを連れて主の家の北の門の入口に行った。見よ、そこに女たちがすわって、タンムズのために泣いていた。8:15 その時、彼はわたしに言われた、「人の子よ、あなたはこれを見たか。これよりもさらに大いなる憎むべきことを見るだろう」。→

8:16 彼はまたわたしを連れて、主の家の内庭にはいった。見よ、主の宮の入口に、廊と祭壇との間に二十五人ばかりの人が、主の宮にその背中を向け、顔を東に向け、東に向かって太陽を拝んでいた。」

マルコ 7:6 「イザヤは、あなたがた偽善者について、こう書いているが、それは適切な預言である、『この民は、口さきではわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。7:7 人間のいましめを教として教え、無意味にわたしを拝んでいる』。7:8 あなたがたは、神のいましめをさしおいて、人間の言伝えを固執している」。

マルコ 7:13

「...こうしてあなたがたは、自分たちが受けついで言伝えによって、神の言を無にしている。また、このような事をしばしばおこなっている」

各時代の希望上26

「異教制度を通して、サタンは長年の間人々を神からひき離してきた。だがサタンの勝ちとった大勝利は、イスラエルの信仰を墮落させたことだった。異教徒は自分たちが考え出したものに心をよせ、そしてこれをおがむことによって、神についての知識を失い、ますます墮落していた。イスラエルもこれと同じだった。→

人は自らのわざによって自分自身を救うことができるという原則が異教のすべての宗教の根底にあった。この原則がこんどはユダヤ人の宗教の原則となっていた。」

ルカ 16:15

「そこで彼らにむかって言われた、「あなたがたは、人々の前で自分を正しいとする人たちである。しかし、神はあなたがたの心をご存じである。人々の間で尊ばれるものは、神のみまえでは忌みきらわれる。」

ルカ19:42-44 「もしおまえも、この日に、平和を
もたらず道を知ってさえいたら.....しかし、それ
は今おまえの目に隠されている。19:43 いつか
は、敵が周囲に壘を築き、おまえを取りかこん
で、四方から押し迫り、19:44 おまえとその内に
いる子らとを地に打ち倒し、城内の一つの石も
他の石の上に残して置かない日が来るであろう。
それは、おまえが神のおとずれの時を知らない
でいたからである」

ルカ 13:34 「ああ、エルサレム、エルサレム、預言者たちを殺し、おまえにつかわされた人々を石で打ち殺す者よ。ちょうどめんどりが翼の下にひなを集めるように、わたしはおまえの子らを幾たび集めようとしたことであろう。それなのに、おまえたちは応じようとしなかった。13:35 見よ、おまえたちの家は見捨てられてしまう。」

ルカ 21:20

「エルサレムが軍隊に包囲されるのを見たならば、そのときは、その滅亡が近づいたとさとりなさい。」





5T451

「プロテスタント主義が手を伸ばし、深淵の向こうにあるローマの権力の手を取り、奈落の向こうにある心霊術と握手しようと手を伸ばす時、また、この三者の結合による勢力下に米国がプロテスタント共和国としての憲法の原則をことごとく放棄し、ローマ法王の偽りと欺きの宣伝に道を備えるその時こそ、我々はサタンの驚くべき働きがやってきたこと、また、世の終わりの近いことを知るのである。→

ローマ軍の接近が弟子たちにとってエルサレムの滅亡のしるしであったように、この背教は、神の忍耐が限界に達したこと、我々の国家の不法の升目が満ち、あわれみの御使いは飛び立ち、二度と戻ってこない飛行につこうとしているしるしとなるのである。」

スタディバイブル新586

「プロテスタント諸教会は、恐るべき迫害を耐えた彼らの先祖たちの信仰に対抗する偽りの宗教を維持するために、世俗の権力と一体となるであろう。合衆国が法令を実施し、教会の制度を支持するために、その権力を用いるまさにその時、新教の国アメリカは法王教の像を形作る。そして、国家的背教が起こり、その結果は国家的破滅をもたらすのみである」(ST 1910年 3月22日)

マタイ24:15,16「預言者ダニエルによって言われた荒らす憎むべき者が、聖なる場所に立つのを見たならば(読者よ、悟れ)、そのとき、ユダヤにいる人々は山へ逃げよ。」

詩篇 19:126

「彼らはあなたのおきてを破りました。
今は主のはたらかれる時です。」

ダニエル 12:11

「...荒す憎むべきものが立てられる時から、千二百九十日が定められている。12:12 待っていて千三百三十五日に至る者はさいわいです」と。